

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月21日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 校長室
- 4 参加者

会 長	栗山 利宏	大垣ミナモソフトボールクラブ専務理事
副会長	栗田 恵世	JP コーチ&コンサルティング(株) 代表取締役
委 員	堀 和英	和合地区 連合自治会長
	日比野 幸江	和合地区 民生委員
	川瀬 智子	本校PTA 副会長
	馬場 舞	本校PTA 会計監査
	吉田 大介	岐阜協立大学 事務局長
	杉崎 康宏	大垣観光協会 副会長 (欠席)
	田中 禎一	大垣西ロータリークラブ 青少年育成委員長 (欠席)
	金森 律子	株式会社リリフル
学 校 側		
	増田 康宏	校長
	山田 理嗣	副校長
	小森 妙子	事務部長
	平松 均	教頭
	立川 喜教	教頭
	瀨瀬 サオリ	教務主任 (全日制)
	井村 仁美	教務主任 (定時制)
	後藤 有喜	連携推進部長

### 5 会議の概要 (協議事項)

#### (1) 課題研究発表会について

- ・本校生徒によるプレゼンテーションを見ての意見交換

意見1 3年生らしく堂々と課題研究で体験したことを言葉にしていた。共有やハウ・レン・ソウの大切さを感じ取って取り組んでいることが伝わった。

意見2 発表をする姿は、普段の部活動で知っている様子とはまた異なる意外な一面を見ることができた。こういった姿を保護者の皆さんに見てもらいたい。  
→発表会が感染症の流行時期になるために保護者に来校して見てもらうのは難しいが、来年度はWEB配信の導入も検討の余地がある。

意見3 高校時代に海外に行くことはよい経験である。

意見4 自分の子どもが台湾研修に向けて、家でも真剣に準備に取り組む姿を見ていた。準備を通して中国語への興味も深まり、学びの幅を広げてもらうことができた。

意見5 発表の中に学びの中の楽しさを感じ取れた。いろいろな方の手を借りてできた取り組みである。今後取り組む1・2年生へのメッセージ的なものが入るとさらに良いと思う。

意見6 素晴らしい発表だった。多くの人の手を借りて取り組みができていることを自覚していたことも良かった。海外研修が実施できたこともよく、生徒一人一人が生き生きと発表していた。

意見7 棒読みしている生徒がおらず、一人一人が自分の言葉として語っていると感じた。活動を振り返りながら発表を聞いている生徒もいた。昔に比べて探究学習が高度化している。事前学習もしっかり取り組まれていると感じた。

意見8 堂々と話せるようになってきている。抑揚をつけた話し方ができ、司会も上手であった。先日ミナモソフトボールチームの選手が自分の体験を1・2年生の教室で語る機会を得た。プレッシャーがかけられた中で伝えるトレーニングが必要であると考えた。

意見9 台湾研修の準備を始めた時には、ある生徒は中国でプレゼンすることができないと口にする。しかし、少しレベルの高いものでも、生徒は乗り越えてくれた。校内だけの取り組みでは、この機会を与えることができないので、実りある研修になった。

- (2) 自己評価・学校関係者評価について
  - ・自己評価について報告

意見10 重要な進路実現に手厚い指導が行われている。

意見11 自己評価について、納得のいく説明がもたらえた。

- (3) スクールミッションについて
  - ・教育総務課修正案を提示、意見交換

意見12 (教育総務課修正案で)簡潔かつ明瞭な文面になり、大垣商業のスクールミッションとして相応しくなった。  
→全会一致で、教育総務課修正案を採択することとなった。

#### 【その他の意見】

意見13 生徒が独居老人の方にプレゼントを作っていたい。来年度は生徒に独居老人訪問に参加してもらえるとありがたい。

## 6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、生徒による課題研究発表会を参観し、本校の教育活動、地域連携の在り方について様々な立場から意見が得られた。
- ・自己評価に対する意見も踏まえ、来年度の学校運営やふるさと教育推進の改善に活かしたい。
- ・スクールミッションの教育総務課修正案に対して、委員の方より賛同をいただいた。